



キク編

病害虫注意報 2025年3月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

白さび病に要注意！



症状

- ▶ 葉に白い隆起した斑点が発生。
- ▶ 茎、葉柄、花梗、ガクに発生する場合もある。

多発条件

- ▶ 15～20℃の気温。
- ▶ 多湿条件（湿度90%以上）や葉の結露。
- ▶ 降水量が多く、比較的冷涼な時期。
- ▶ 肥料不足、または極端な窒素過多。

対策

- ▶ 循環扇によるハウス内の温度・湿度ムラを減らす。
- ▶ 予防的に薬剤散布を行う
- ▶ 適切な施肥量で管理を行う
- ▶ 排水不良圃場では、排水を良好にする。
- ▶ 発病株は伝染源になるため、抜き取り、焼却もしくは土中深くに埋める。

 地域の防除事例を基に作成しています(輪菊栽培)。品種、栽培条件によっては葉害が発生する場合があります
展着剤・葉面散布剤などを加用する場合もご注意ください。

時期	RAC	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数・使用量	使用時期	回数
定植時	P02	白さび病	予 inochioキクチャ粒剤	6～9kg/10a (作条土壌混和)	定植時	1回
生育初期	M03	白さび病	予 ジマンダイセンフロアブル	500～800倍	—	8回
	23	アザミウマ類 アブラムシ類・ハダニ類	inochioセイレーンフロアブル	2,000倍	発生初期	3回
消灯時	11	白さび病	予・治 アミスター20フロアブル	2,000倍	発病初期	5回
	34	アザミウマ類	ファインセーブフロアブル	2,000倍	発生初期	2回
発蕾時	19	白さび病	予・治 ポリオキシシンAL水溶剤	2,500倍	発病初期	8回
	5	アザミウマ類 ハダニ類等	ディアナSC※	2,500～5,000倍	発生初期	2回
破蕾時	7	白さび病	予・治 カナメフロアブル	4,000～8,000倍	発病初期	3回
	6	アザミウマ類・ハダニ類	アグリメック※	500倍	発生初期	5回

※花き類・観葉植物登録

海藻サンバ

育苗期・生育期:1,000倍

- ▶ コリンによる
光合成促進と発根促進
- ▶ 海藻エキスによる**発根促進**
- ▶ 転流を促進

肥料登録番号
生第101491号



白 酢

POINT

- ◆ 発根を促進し 根張りが向上
- ◆ 固定されたリン酸の吸収を促進
- ◆ 一時的なpHの抑制

灌注時：100～300倍
散布時：300～1,000倍



※強酸性のため100倍より濃くならないように注意